

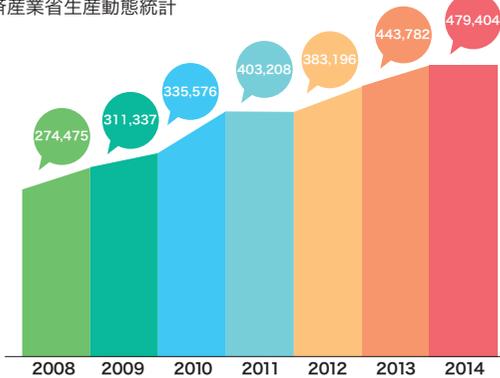
駐輪場に駐められない?! 増加する 【電動アシスト自転車】問題

ビシクレットの
自転車ラックが
解決します

電動アシスト自転車が登場して20年余り、その生産数は現在も右肩上がり増加しています。
日本における自転車の進化と、それを追いかける駐輪場の切っても切れない関係をお伝えします。

電動アシスト自転車国内生産数 (単位: 台)

経済産業省生産動態統計



国産自転車の50%以上が電動アシスト車

オートバイや車と比べ、環境にやさしく、免許不要の手軽さで人気の電動アシスト自転車。1993年の発売当初の年間出荷台数は3万5千台程度でしたが、価格が高価だったこともあって、その普及はなかなか進みませんでした。

当時は主婦が買物などに利用するケースが多かったものの、現在は車種のバリエーションが増えるとともに利用者層も拡大し、国内生産数は50万台に迫る勢いを見せています。日本での自転車販売数は全体の9割近くを輸入品に頼っていますが、電動アシスト自転車においては、国内生産数の50%以上を占めています(2014年実績)。

人気車種は小径・低重心タイプ

ところで、市場拡大に繋がった要因のひとつ、車種のバリエーションには具体的にどのようなものがあるのでしょうか。

まず街中で目立つのは、前後に大きなチャイルドシートが付いた2〜3人乗り自転車。安定感のある小径・低重心タイプが人気を増えています。

そして近年増えているのが、お洒落に進化した通勤・通学向け自転車。10代にも好評なシティサイクルの他、スポーツタイプや折り畳み仕様のものもあり、スーツ姿でかっこよく乗りこなせます。

さらに注目すべきは、宅配便や新聞配達などの業務用電動アシスト自転車。荷物を楽に運べるよう、カゴも進化しています。



子どもや重い荷物を積んでの運転には電動アシスト自転車は最適

重量・サイズ・車種によるトラブルも



従来型の自転車ラックでは電動アシスト自転車ははみ出してしまう?!

便利な電動アシスト自転車ですが、駐輪場業界では頭を悩ませているのも事実。自転車ラックに駐められないトラブルが多発しています。

●重量 電動アシスト自転車の一般的重量は25kg以上。3人乗りタイプでは35kgを超えるものもあり、ラックの破損が問題となっています。

●サイズ チャイルドシートや大きなカゴなどを想定していないラックでは、大型自転車が一台中まると、その両サイドや上段のラックが使用できなくなる場合があります。

●小径車対応 小径電動アシスト自転車には前輪の車軸にセンサーが付いている車種があり、ラックとの干渉が問題となっています。駐輪場に駐められないだけでなく、センサーの破損を招くこともあります。



電動アシスト自転車もOK! ビシクレットの駐輪場づくり

ビシクレットでは、電動アシスト自転車に対応した自転車ラックをラインアップ。
収容台数やスペースに応じた自転車ラックで、電動アシスト自転車の駐輪を可能にします。

垂直2段式ラック+下段スライドラック

限られた敷地で収容台数を確保したい、チャイルドシート付電動アシスト自転車も収容したい、けれど使いやすさは最優先!というご要望を叶えるのがこのラックです。従来の固定型2段式ラックとは異なり、子どもの頭を支えるヘッドレストも上段に当たらず収容可能。たった1台のチャイルドシート付自転車のために、上段や両隣の利用に支障を来す心配がありません。



様々な形の自転車を美しく収容

上段ラックは垂直上下動タイプで女性の力でも楽々操作。下段ラックは40kg対応タイプを選択していた

だくことにより、3人乗り電動アシスト自転車も収容可能です。前輪受けは小径車のセンサー付車軸に対応した特殊設計で、14~28インチ、つまり市場に出回る多くの自転車に対応できます。

また、物件ごとに電動アシスト自転車の必要数を検討し、ラック台数を調整することで、使いやすさと収容効率のベストバランスをご提案いたします。



大きなチャイルドシートもこの通り

スライドラック

電動アシスト自転車をスライドラックに収容する際は、傾斜なしのフラットタイプをおすすめします。最大40cmの前後差で隣り合うチャイルドシートの干渉を防ぎ、高い収容効率を確保できます。



フットブレーキで使いやすさUP

重い自転車は使用時にラックが動いて使いづらいこともありますが、オプションのフットブレーキを付ければ力に自信のない方にも安心です。また、ブレーキの外し忘れを防ぐため、入庫完了と同時に自動解除される仕様もご用意しております。

チャイルドシート付き自転車・電動アシスト自転車 対応サイクルラックのリーフレットをお配りしています。

ビシクレットが販売・設置実績10,000件の中で学んだ経験を基に、電動アシスト自転車・3人乗り自転車の収容に特化した自転車ラックをリーフレットで紹介しています。大型自転車もたらず駐輪場問題に頭を悩ませている皆様、ぜひ弊社営業担当までお問い合わせください。

リーフレットのご用命は
営業企画部：第1グループまで
TEL: 03-3437-9710(代表)



平置ラック

通常は高低差をつけて設置する平置ラックですが、間隔を広げ低いタイプのみを使うことで3人乗り自転車も楽々収容。乗り入れ段差はわずか4cmとストレスフリー。倒れを防ぎ、整頓された綺麗な駐輪場を演出します。

都内工場で作っていますので、流行のファットバイクに合わせたタイヤ幅12cm仕様やラック間隔の特注など、ご要望に合わせ臨機応変な対応が可能です。



シンプルながら侮れません

